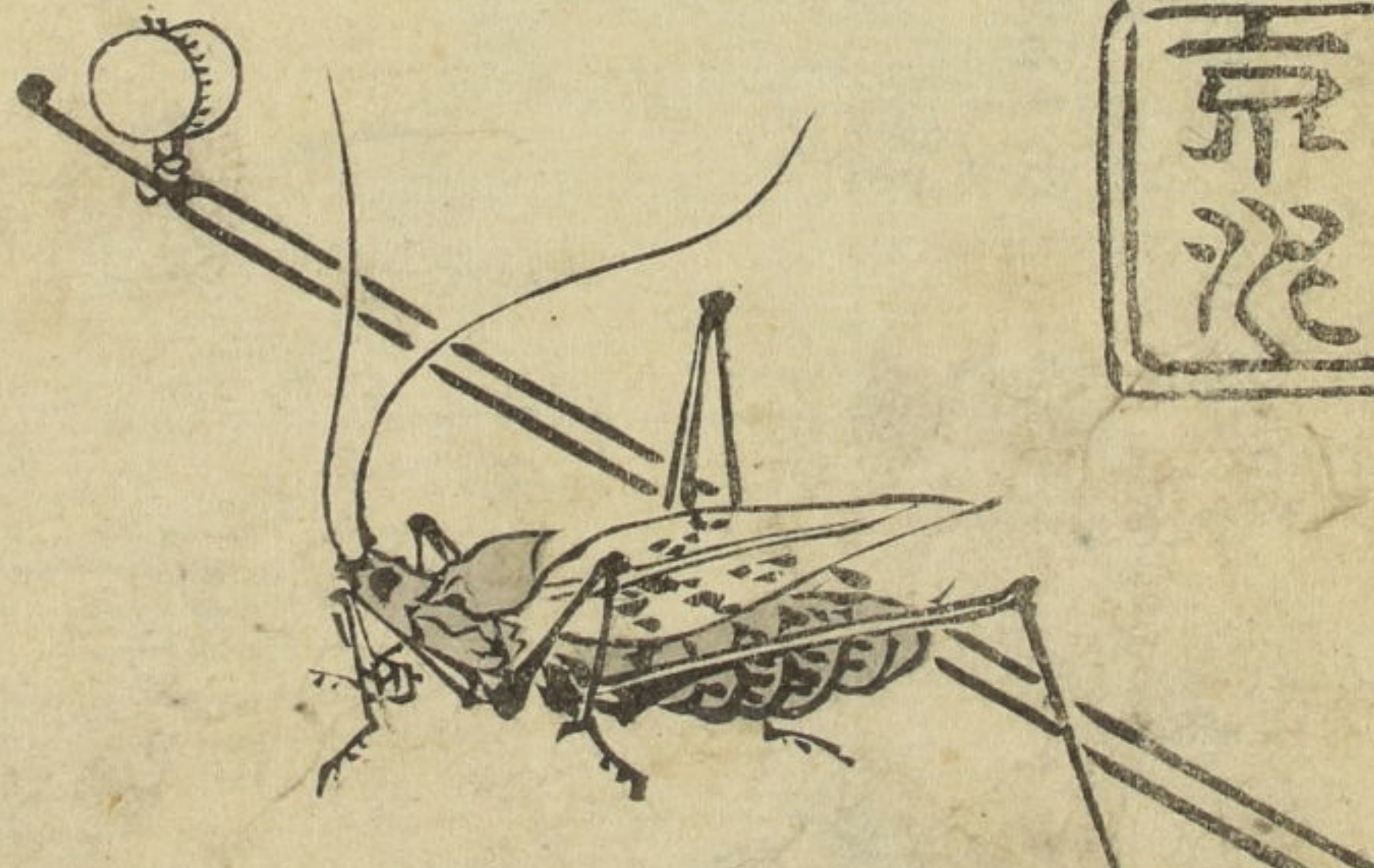


繪見上京國
 圖西冊山貞
 行六
 編



喜鶴堂壽梓

13
 3744
 6



繪圖見西行六編

上



下



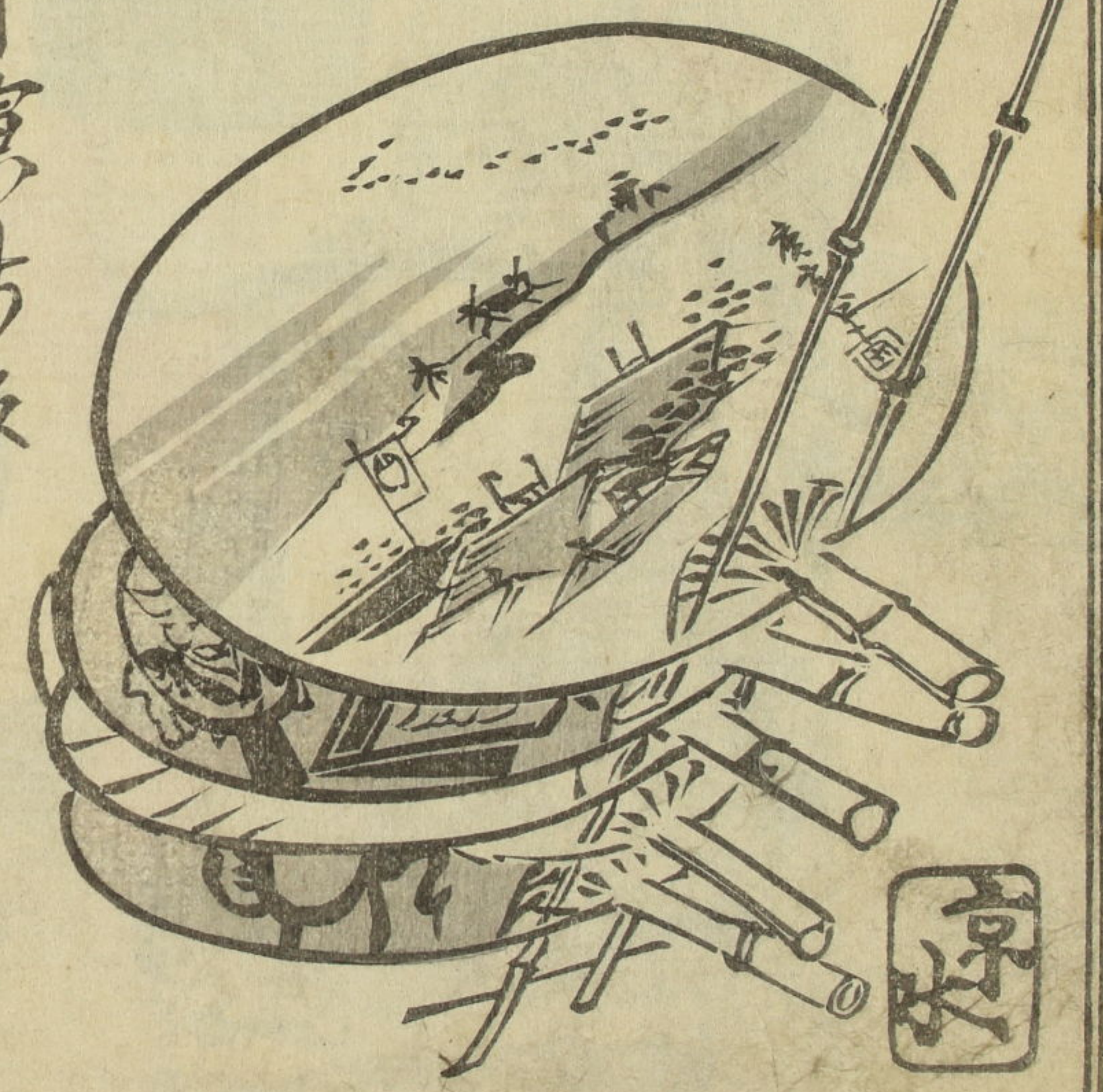
京山作
國貞画

春新板

門 273
 號 3744
 卷 6

名ぞ見
 西行六
 魚んの下
 京山作
 國貞画

天保十三年寅新板



繪圖見行編
 西圖

机上の空楮を啓て意の随て句を為し句積で支を紀
 事嗣で編をり編成て冊とめ其句の身浴其更の
 虚妄其編の陋拙其冊の裨史多一本の價僅二緡小
 不出其購易とて流傳最廣く国として不到野
 可恥哉 天保辛丑孟春 京山人題 西東

天保十二年辛丑孟
 春脱稿全初冬上梓
 全十三年寅春新版

山東菴京山作
 香蝶樓國貞画

西行六編

壹

機心筆
耕大橋
日梨

物音の心

の心以下女

船川たのん



菊壽

舟の舟

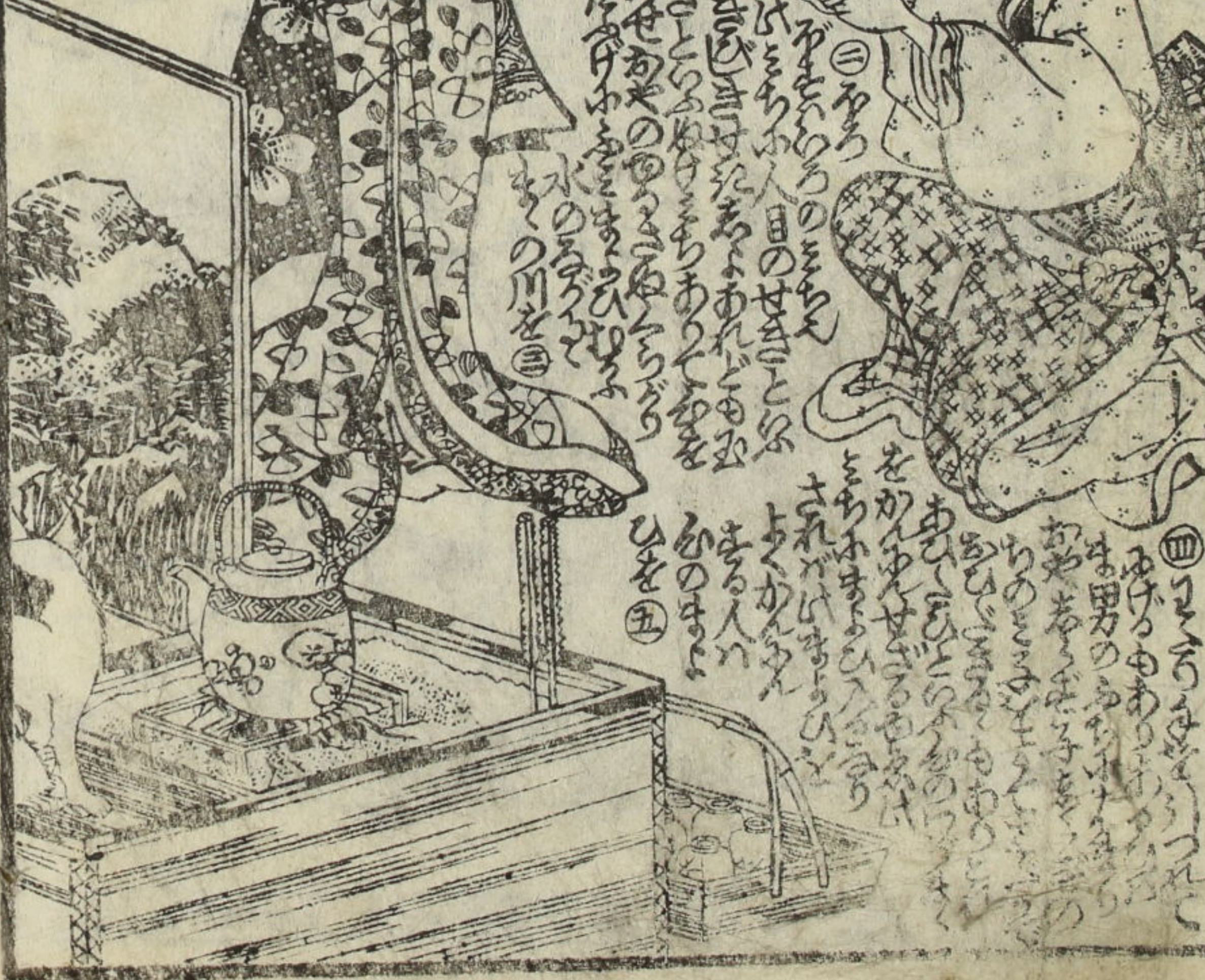
豆丸



第 堪忍の教草 天明のころ

あつこころを多くあてさせける由多
わぐの口うらむと五五のうらむ
そちをさしこむと女うらむとあて
お笑考するありあやかりけり
そのまんぐのせせのあやかりけり
たつたうらむの二字のかんやを
これ五五あねをさあけけけけ
世のこととせむかかん五五と
よきことあり又あやかりけり
かんやうらむあやかりけり
これあやかりけりあやかりけり
二五のあやかりけりあやかりけり
あやかりけりあやかりけり

あつこころを多くあてさせける由多
わぐの口うらむと五五のうらむ
そちをさしこむと女うらむとあて
お笑考するありあやかりけり
そのまんぐのせせのあやかりけり
たつたうらむの二字のかんやを
これ五五あねをさあけけけけ
世のこととせむかかん五五と
よきことあり又あやかりけり
かんやうらむあやかりけり
これあやかりけりあやかりけり
二五のあやかりけりあやかりけり
あやかりけりあやかりけり



あつこころを多くあてさせける由多
わぐの口うらむと五五のうらむ
そちをさしこむと女うらむとあて
お笑考するありあやかりけり
そのまんぐのせせのあやかりけり
たつたうらむの二字のかんやを
これ五五あねをさあけけけけ
世のこととせむかかん五五と
よきことあり又あやかりけり
かんやうらむあやかりけり
これあやかりけりあやかりけり
二五のあやかりけりあやかりけり
あやかりけりあやかりけり

あつこころを多くあてさせける由多
わぐの口うらむと五五のうらむ
そちをさしこむと女うらむとあて
お笑考するありあやかりけり
そのまんぐのせせのあやかりけり
たつたうらむの二字のかんやを
これ五五あねをさあけけけけ
世のこととせむかかん五五と
よきことあり又あやかりけり
かんやうらむあやかりけり
これあやかりけりあやかりけり
二五のあやかりけりあやかりけり
あやかりけりあやかりけり



あつこころを多くあてさせける由多
わぐの口うらむと五五のうらむ
そちをさしこむと女うらむとあて
お笑考するありあやかりけり
そのまんぐのせせのあやかりけり
たつたうらむの二字のかんやを
これ五五あねをさあけけけけ
世のこととせむかかん五五と
よきことあり又あやかりけり
かんやうらむあやかりけり
これあやかりけりあやかりけり
二五のあやかりけりあやかりけり
あやかりけりあやかりけり



あはれなれど母のふりよる
 わけなれど母のふりよる
 つけて母さあはよるあ
 をたのんかあはよるあ
 ちよとせいかあはよるあ
 あはれなれど母のふりよる
 わけなれど母のふりよる
 つけて母さあはよるあ
 をたのんかあはよるあ
 ちよとせいかあはよるあ

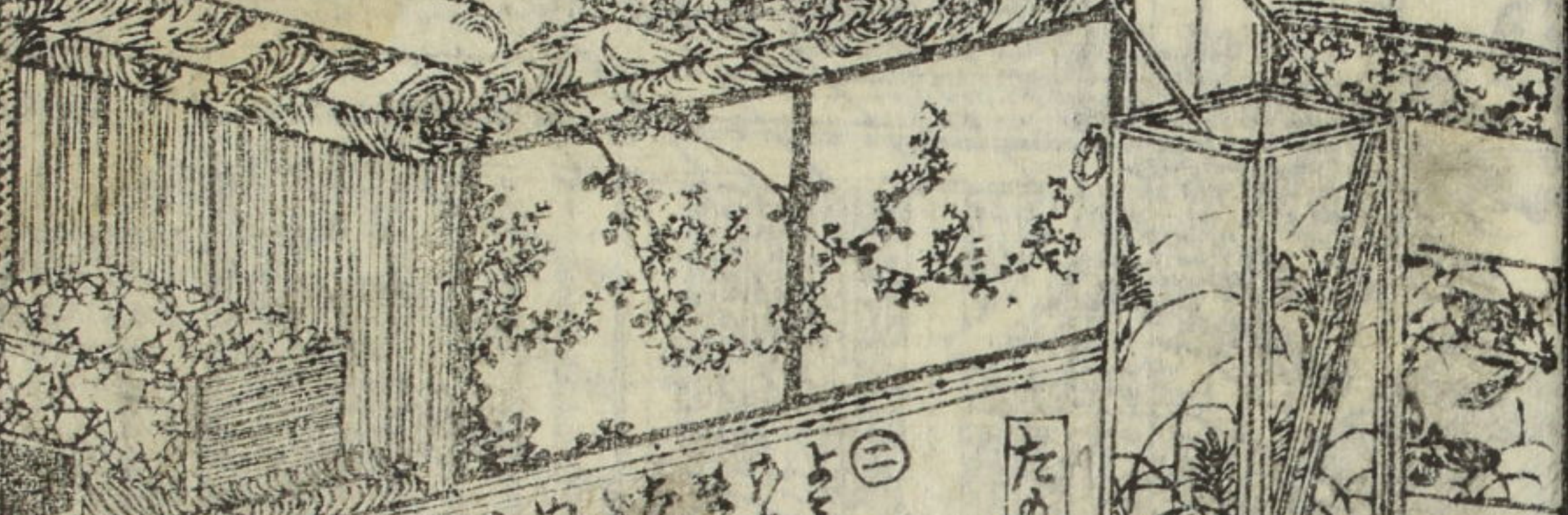
まのりよる
 のりよる
 けのりよる
 りのりよる
 たのりよる
 七つよる
 のりよる



けのりよる
 りのりよる
 たのりよる
 のりよる
 まのりよる
 のりよる
 けのりよる
 りのりよる
 たのりよる
 のりよる

あはれなれど母のふりよる
 わけなれど母のふりよる
 つけて母さあはよるあ
 をたのんかあはよるあ
 ちよとせいかあはよるあ
 あはれなれど母のふりよる
 わけなれど母のふりよる
 つけて母さあはよるあ
 をたのんかあはよるあ
 ちよとせいかあはよるあ

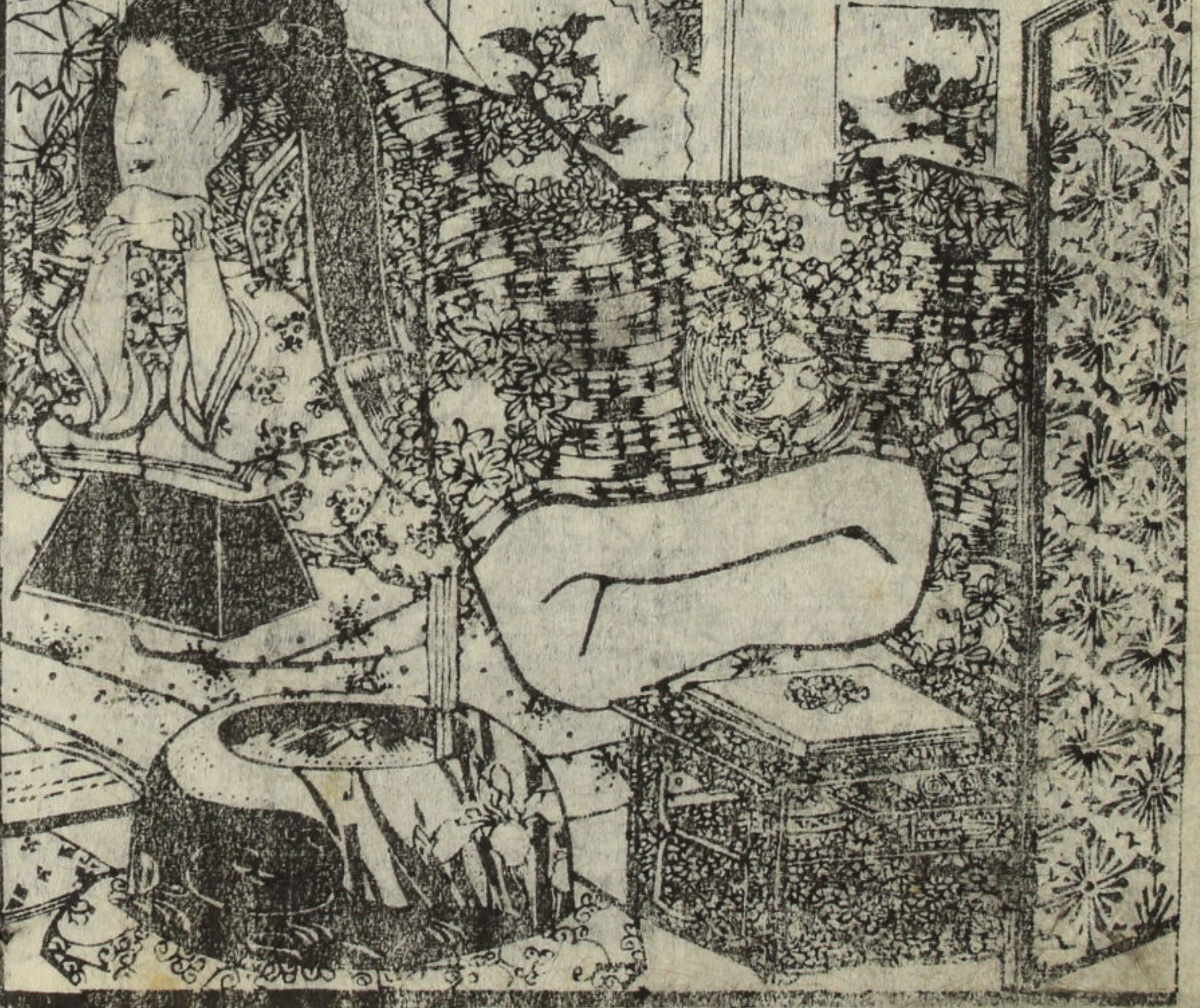
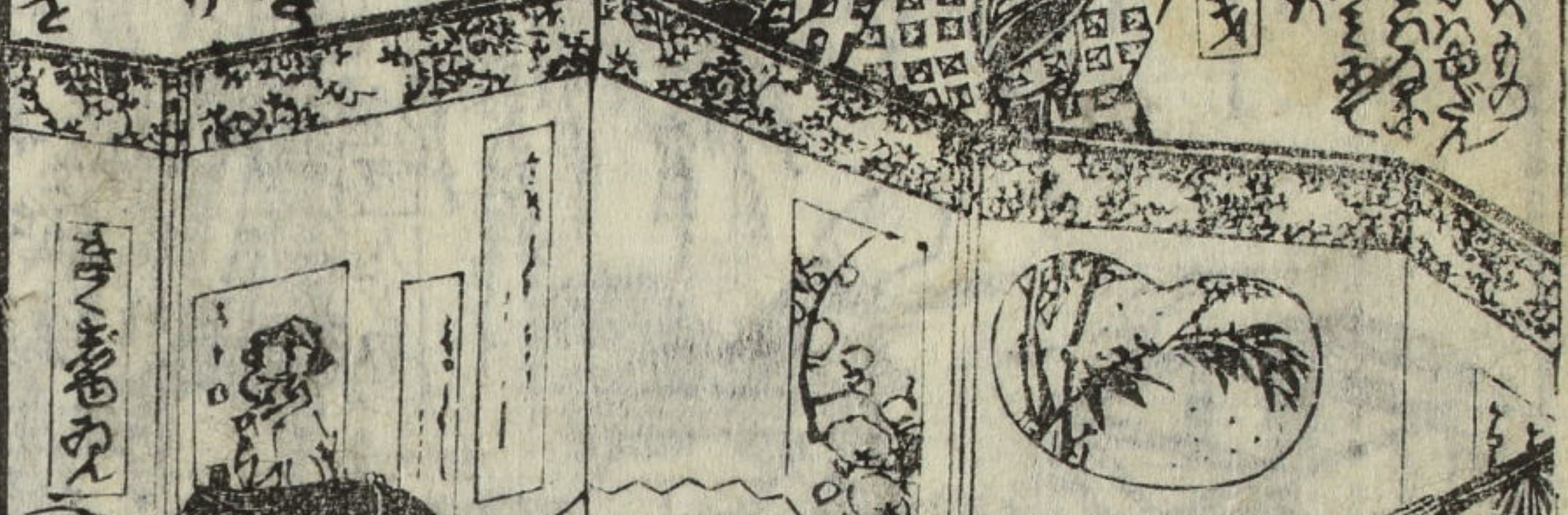
けりいかにてあやうく
 つたされりやうやくの
 さるるるるるるるるるる
 ともあはれいとしんせ
 ぐやスハヤヤヤヤ
 んのふまはるるるる
 けりいかにてあやうく
 つたされりやうやくの
 さるるるるるるるるるる
 ともあはれいとしんせ
 ぐやスハヤヤヤヤ
 んのふまはるるるる



けりいかにてあやうく
 つたされりやうやくの
 さるるるるるるるるるる
 ともあはれいとしんせ
 ぐやスハヤヤヤヤ
 んのふまはるるるる

けりいかにてあやうく
 つたされりやうやくの
 さるるるるるるるるるる
 ともあはれいとしんせ
 ぐやスハヤヤヤヤ
 んのふまはるるるる

けりいかにてあやうく
 つたされりやうやくの
 さるるるるるるるるるる
 ともあはれいとしんせ
 ぐやスハヤヤヤヤ
 んのふまはるるるる
 けりいかにてあやうく
 つたされりやうやくの
 さるるるるるるるるるる
 ともあはれいとしんせ
 ぐやスハヤヤヤヤ
 んのふまはるるるる



けりいかにてあやうく
 つたされりやうやくの
 さるるるるるるるるるる
 ともあはれいとしんせ
 ぐやスハヤヤヤヤ
 んのふまはるるるる

けりいかにてあやうく
 つたされりやうやくの
 さるるるるるるるるるる
 ともあはれいとしんせ
 ぐやスハヤヤヤヤ
 んのふまはるるるる

又るんぎぎのれけのそのり
下のまきふあるま

四月花やの
まのり

このころのたのしみは
あのかつとやうに
よつとひのけのり
入りのかたじけなく
川をのりてふか
のりかたじけなく
たのしみはあつた
まのり



中の人

たのしみはあつた
まのり
あつた
まのり

たのしみはあつた
まのり

たのしみはあつた
まのり
あつた
まのり



たのん

たのん
あつた
まのり

京山作 國貞画



●あげづめのは
●女とてこのよるに
●まふらさうせんか
●ぬまらぬとたをこ
●ひのあはれりつち
●のちりともまはり
●のちりともまはり
●のちりともまはり
●のちりともまはり
●のちりともまはり
●のちりともまはり
●のちりともまはり

西行六編上より

大奉書四切
極彩色摺
東海道五十二次女画入

香蝶樓画圖
少遊格九折入
命多高入

中奉書四切
上彩色摺
東海道五十二次全圖

廣重画圖
右月形

奉書類繪半切御進物御箱入數品御好次第

東千代紙御進物御箱入御望次第

鳶皮紙類御進物御望次第仕差次第

團扇御誂物御好次第

團扇繪草紙問屋

極品之る若加う
日本橋川口製

井 佐野屋喜兵衛

喜鶴堂仕入諸品御披露

西行六編下



西行六編下

松川なほ
まきく
とさく
あわと
なを
たの
あち
やうい
あつら
ひる

山

世
山

△月うけする代金六
 のらうとやまのてらとのひ
 つくまのそとりの月夜やの
 あつたふたげれがあらう
 まりののてらつてらつてら
 うらまのそとりのせ
 川にさうせんせいの
 ちま月夜やの
 のる本七百あ
 るる後ひきまやの
 とりよとまやの
 ●あたまれぬる
 ままきくふあひら
 平らのきあつてあ
 あれけあつてあ
 てんくのあまの
 せん百あつてあ
 とひきつてあ
 あれあつてあ
 めつてあつてあ
 あつてあつてあ
 まつてあつてあ
 人々のむもやめら
 こつてあつてあ
 かつてあつてあ
 つてあつてあ
 あつてあつてあ



① 百あつてあ
 つてあつてあ
 あつてあつてあ

ゆとらとあつてあ
 とあつてあつてあ
 けらつてあつてあ
 のそとあつてあ
 どつてあつてあ
 せつてあつてあ
 のあつてあつてあ
 うつてあつてあ
 あつてあつてあ
 ●あつてあつてあ
 ① 百あつてあ



① 百あつてあ
 つてあつてあ
 あつてあつてあ

又おれがまわらせさすのと
てぬらひのまら
さうのまら
あひかき
ふれかき
つのはまら
百のまら
川とまら
ゆたけり

第六
ねこ
あ
け
白
ま
それ
さ
あ



ねこ又の六

④そのひとてつぐらう
のまら
あひかき
ふれかき
つのはまら
百のまら
川とまら
ゆたけり
あひかき
ふれかき
つのはまら
百のまら
川とまら
ゆたけり
あひかき
ふれかき
つのはまら
百のまら
川とまら
ゆたけり

ねこ又の六
あ
け
白
ま
それ
さ
あ



百二ノ一

あひかき
ふれかき
つのはまら
百のまら
川とまら
ゆたけり

あひかき
ふれかき
つのはまら
百のまら
川とまら
ゆたけり



百二十六卷用



世のこともあつてまよされり
 まよるとしと神のつらみおち
 こころのまよとくわあつちあ
 あひひらふらふまよせ川を
 ちのひらふらふまよせ川を
 ちのひらふらふまよせ川を
 ちのひらふらふまよせ川を
 ちのひらふらふまよせ川を

① 志づかりでまよぐの
 うきとらうらうらふ
 ちのひらふらふまよせ川を
 ちのひらふらふまよせ川を
 ちのひらふらふまよせ川を

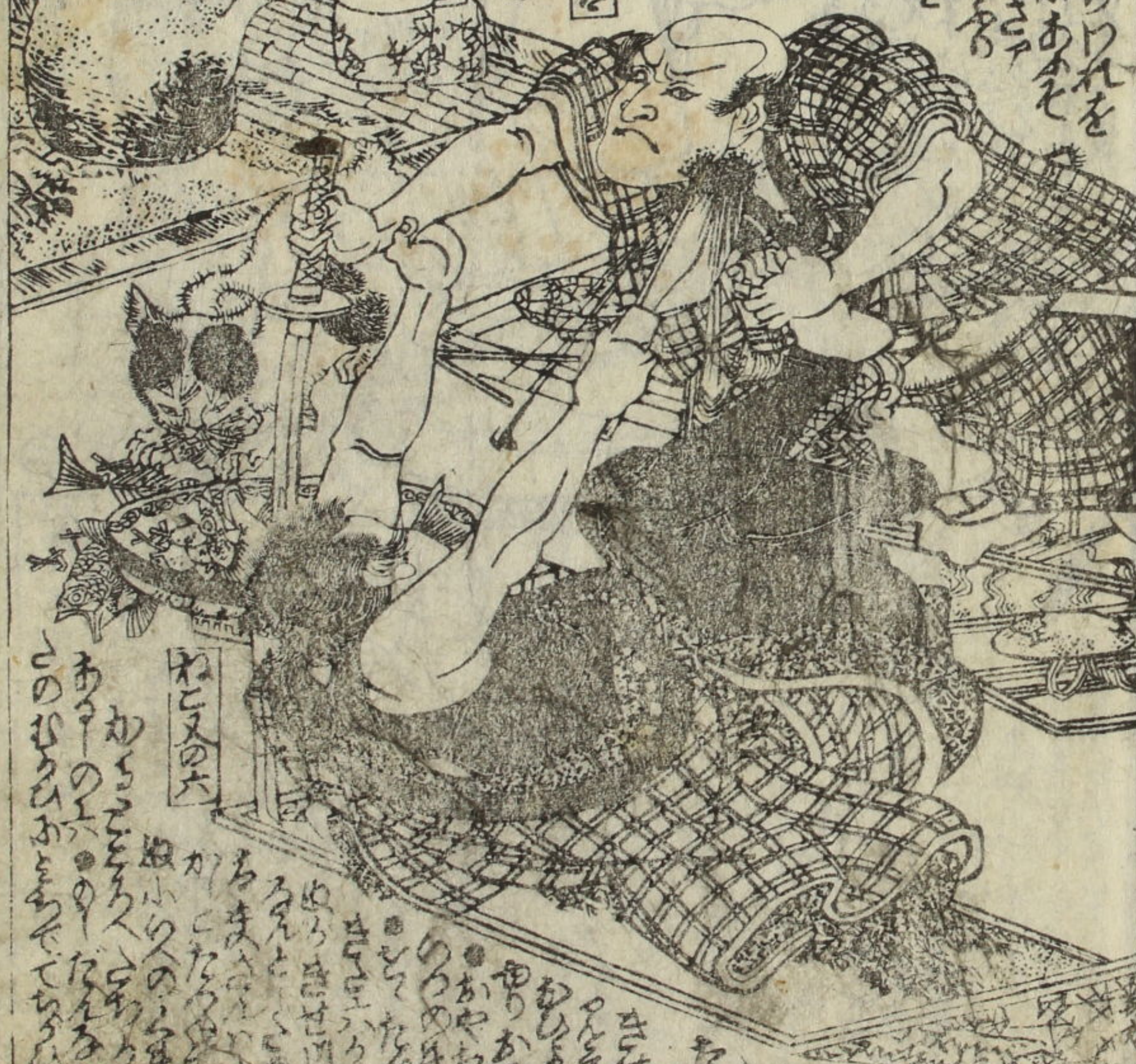
④ くらうら
 のまよ
 ちのひらふらふまよせ川を
 ちのひらふらふまよせ川を
 ちのひらふらふまよせ川を
 ちのひらふらふまよせ川を



まよるとしと神のつらみおち
 こころのまよとくわあつちあ
 あひひらふらふまよせ川を
 ちのひらふらふまよせ川を
 ちのひらふらふまよせ川を

① 志づかりでまよぐの
 うきとらうらうらふ
 ちのひらふらふまよせ川を
 ちのひらふらふまよせ川を
 ちのひらふらふまよせ川を

④ くらうら
 のまよ
 ちのひらふらふまよせ川を
 ちのひらふらふまよせ川を
 ちのひらふらふまよせ川を
 ちのひらふらふまよせ川を



● ありぬきとる人よりやまを川を
こしやうとてこしとて
● 金入るる人入るるの
日ころのやまを川を
● 金入るる人入るるの
● 金入るる人入るるの
● 金入るる人入るるの



第七用おたる二音也

それへさして又
たのんかひの
つゆりあひ
のよりま
かんへりけれ
ある由人の
あまをさ
川を
あまをさ
あまをさ
あまをさ

● ありぬきとる人よりやまを川を
こしやうとてこしとて
● 金入るる人入るるの
日ころのやまを川を
● 金入るる人入るるの
● 金入るる人入るるの
● 金入るる人入るるの



たのん

きせ川

たのん用あつた
ゆでつふふ
たのんかひの
つゆりあひ
のよりま
かんへりけれ
ある由人の
あまをさ
川を
あまをさ
あまをさ
あまをさ



此の川が... 大が...
 それが... の...
 ...

大の...
 ...



...

...

天保三十三年壬寅孟春新版目録

傾城三國志五篇八冊
 香蝶樓國貞作

初編繪圖名所杖改
 外題繪圖見西行

山吹の瀬
 接う園繪圖見西行

山東庵京山作
 香蝶樓國貞作

琴聲耳美人緑
 曹次郎説
 香蝶樓國貞作

釣花三日月四冊
 春也宗
 色もる

美艶仙女香四冊
 黒油美去杏



繪圖見西行六編終

▲江戸京を飛ぶ二羽の鳥

傾城三國と云ふおねて、
 去のびんりのしやうの
 ありまのたのうちまが
 ところの女とてちぢ
 りつと二ツつてひと
 るでたるところあや
 ちの鳥としてひひ
 ともひひさうまのひひ
 ありのちうとや●その
 ろうのちうとや●その
 ●あやとてひひとて
 ●あやとてひひとて
 ●あやとてひひとて
 ●あやとてひひとて
 ●あやとてひひとて
 ●あやとてひひとて

西国月夜神楽
 奇談 五柳亭徳外作

東国月夜神楽
 奇談 勇斎芳馬作

空俗俠素群談十冊
 香蝶樓國貞作

繪本一代記
 東都因扇問屋

地本錦繪問屋
 東都因扇問屋

井喜鶴堂佐野屋喜兵衛

江戸芝神前寺鳥羽角

▲江戸京を飛ぶ二羽の鳥
 京のびんりのしやうの
 ありまのたのうちまが
 ところの女とてちぢ
 りつと二ツつてひと
 るでたるところあや
 ちの鳥としてひひ
 ともひひさうまのひひ
 ありのちうとや●その
 ろうのちうとや●その
 ●あやとてひひとて
 ●あやとてひひとて
 ●あやとてひひとて
 ●あやとてひひとて
 ●あやとてひひとて
 ●あやとてひひとて

